

カレッジだより



16期生370人が卒業

第16期生の卒業式が3月16日、カレッジホールで行われ、370人が卒業しました。今井鎮雄学長からは「福島原発の事故でわかるように、世界はリスクを考えつつ活動しなければならない〈新しい時代〉に入った。高齢化も進んでおり、高齢者が自らを支えていかなければならない難しい社会になる。カレッジで学んだことを生かし、新しい世界を築く先達として活躍してほしい。卒業おめでとう、ではなく、



ご苦労様、お願いしますと申し上げる」とはなむけの言葉がありました。

卒業証書は代表がホールで受け取り、各教室で卒業生に手渡されました。コース別の卒業生は健福84人、国際87人、生環64人、美工39人、音文35人、園芸27人、食文34人でした。卒業生からは物置1棟が記念品として贈呈されました。＝写真は福祉コースの教室で卒業証書をもらう卒業生＝「爽風」提供

19期生396人が入学

第19期生396人の入学式が4月6日午前10時30分からカレッジホールで行われ、今井鎮雄学長は「高齢化社会を迎え、新しい仕組みが必要だ。皆さんが先頭に立ってがんばってほしい」と励ましの言葉を贈りました。コース別入学者は健福82人・国際84人・生環71人・美工40人・音文39人・園芸40人・食文40人。

カレッジには緊張した面持ちの新入生が雨模様の中、次々と登校、新しい学園生活に夢をふくらませていました。入り口では東北支援募金の呼びかけもあり、クラス別に入学記念写真の撮影も行われました。午後からは各サークルの入部勧誘が一斉にスタート。パネルを見たり、先輩の説明に聞き入ったり、ロビーは終日、賑やかな雰囲気に包まれました。

私のボランティア日記

パソコン教室で 池田 惇（生15）

新長田旧二葉小で〈わ〉のパソコン教室が再開されたので、押しかけボランティアとして参加してみた。この日の受講者はパソコンに触るのが初めての男女5人。マウス操作もパソコン用語も分からず、初めは、顔も、手も、身体も固まった表情で苦労されていたが、講座の終わり頃には、顔がほころび、口もほぐれてきて、楽しそうだった。

あか抜けしない私の知識・技量・経験でも、初心者の方には役立つし、理解してもらえる様子を見ていると、何か達成感を感じ、奉仕することへの喜びを感じる。パソコンは、英会話と同じで、失敗を恐れることなく、繰り返し使って、慣れることが上達の秘訣。分からないからと途中で諦めずに挑戦し続けて欲しいと思う。

私がパソコン教室に参画するのも、パソコンに接する機会を維持することと、講師の指導の中から新たな知識を習得し、忘れていた技量を思い出すことに役立つと信じているからである。

グループ学習の合同発表会

16期生のグループ学習合同発表会が3月1日、カレッジホールで開催され、各コースの先輩、後輩たちも駆けつけ、終日、熱心に耳を傾けていました。発表は午前10時の音文専攻から始まり、休憩を挟んで16時の生環コースまで、順次行われ、講師からは的確なコメントがありました。ロビーでは27日から3月13日まで、美術専攻生の卒業作品が展示されました。各コースの発表テーマは次のとおりです。

【音文専攻】①和太鼓グループ②パーカッショングループ③全員合唱

【国際コース】①羽ばたけ！日本人②幸福立国ブータンの幸せの源泉を探る③太極拳と国際交流、

【食文専攻】①海藻から健康のパワーをもらおう②「精進料理」の歴史と心を尋ねて、

【健福コース】①人生最後の10年をどこで生きるか②「養生訓」に学ぶ③超元氣印さんから学ぶ、

【園芸専攻】①トマト栽培②ごぼう栽培③ナス栽培

【生環コース】①「しあわせの村」②エコタウン”自転車をもっと活用しよう”③次世代のための新エネルギーを考える

▼カレッジ事務局人事（4月1日） 【退任】田中伸一 【新任】佐々木信二＝福祉振興協会から。